

## 平成 27 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録

日 時：平成 27 年 10 月 6 日（金）17 時 00 分～18 時 15 分

場 所：京都大学宇治地区研究所本館 S 棟 5 階 防災研究所大会議室(S-519D)

出席者（敬称略）吉田、和泉、大石（代理：小林）、中川（議長）、遠田、岡田、松澤、  
牧、山本、山中、塚原、酒井、竹林、橋本、川池、井口、佐々、岩波  
オブザーバー（敬称略）：寶（所長）、廣岡（前議長）、西上、（文部科学省）：田中  
（事務局）：織田

### 配布資料

資料 1 京都大学防災研究所自然災害研究協議会出席者名簿

資料 2 平成 27 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料 3 本部及び地区部会の活動報告・活動計画

資料 4 自然災害研究協議会の規定及び申し合わせの改定（案）

資料 5 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿（案）

資料 6 科研費（突発災害）申請ガイドライン（案）

資料 7 科研費（突発災害）申請の研究課題と研究組織

「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による災害の総合研究」

追加資料 浸水深調査箇所（防災科研,09/19,80 箇所）

- ・協議会開催に当たり、京都大学防災研究所長 寶馨 教授並びに文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室 田中大和室長補佐より挨拶がなされた。
- ・橋本委員より、本協議会の出席者（代理）の確認がなされた。

### 議 事：

#### 1. 前回議事録（案）の確認（資料 2）

橋本委員より議事録（案）の内容説明があり、了承された。

#### 2. 平成 27 年度これまでの活動報告および今後の活動計画について（資料 3）

各地区部会及び本部より、これまでの活動報告と今後の活動計画について説明がなされた。

○北海道地区：資料センター報告の編集及び運用について、指針を制定した。

\*地区部会からの質問により、科研費（突発災害）の申請及び採択状況、人材データベースの現状把握及び今後の改善について、情報共有がなされた。

○東北地区：研究集会及び総会の開催、公開シンポジウムの開催、研究論文集の発刊、HP の管理運営

○関東地区：市民フォーラムの開催（H27.11.4）

○中部地区：シンポジウムの開催、研究集会の開催、人材データベースの充実

と活用、HPの運営管理、SAIGAI データベースの更新、自然災害の調査活動と報告会の開催

- 近畿地区 : 第 200 回神戸大学 RCUSS オープンゼミナールの共催 (H27.8.22)  
人材データベースの近畿支部の拡充
- 中国地区 : オープンフォーラム(H27.9.23) (於: 山口大学)、中部地区部会  
研究発表会(H28.3.19)、研究論文集発行
- 四国地区 : 第 3 回九州中国四国地域国立大学防災情報交換会 (H27.9.19)  
(於: 鳥取大学)  
\* 今後の活動継続の為に規約に関する打合せ等を実施
- 西部地区 : 日刊建設工業新聞主催「セイフテック」に展示物の出品、研究表  
会の開催、地区部会報の発行
- 本部地区 : 第 53 回自然災害科学総合シンポジウム開催(H27.10.6)、パンフレ  
ットの改訂。  
\* 本協議会からの意見により、パンフレットに科研費特別研究促進費  
による突発災害調査の予算規模等の情報を掲載することになった。

### 3. 自然災害研究協議会の規程及び申し合わせの改定について (資料4)

橋本委員より、規程について、メール審議と規程の改廃に関する条項を追加する旨の説明がなされ、協議の結果、「メール等による持ち回り審議」を「メール審議」とすることで了承された。(正式には防災研究所の教授会で決定する。)

また、申し合わせについて、「広報担当委員」及び「国際連携担当委員」の追加と申し合わせの改廃に関する項目を追加する旨の説明がなされ、了承された。

### 4. 3号委員の追加及び6号委員の交代等について (資料5)

橋本委員より、申し合わせの改定を受けて、越山健治~~二~~広報担当委員を4~~6~~号委員から3号委員とし、同じく3号委員として京都大学防災研究所 多々納裕一教授を国際連携担当委員に推薦する旨の説明がなされ、了承された。

また、6号委員の鈴木進吾データベース担当委員の後任に京都大学防災研究所 横松宗太 准教授を推薦する旨の説明がなされ、了承された。

### 5. 科研費 (突発災害) 申請ガイドラインについて (資料6)

竹林委員より説明がなされ、協議の結果、以下の点を修正して了承された。

- ① ガイドライン「1. 申請の判断」について、『自然災害が発生した場合』を文科省募集要項『突発的に発生した災害等 (の場合)』の記述に沿った内容に改める。
- ② 文科省募集要項とリンクし、過去の科研費 (突発災害) の申請内容等、申請の際に参考となる情報を掲載する。

6. 鬼怒川洪水災害に関する科研費（突発災害）申請について（資料7）

竹林委員より資料に基づき説明がなされた。

7. 今後の予定（第3回自然災害研究協議会開催について）

橋本委員より、年末・年明けに日程調整し、3月中旬頃に実施したい旨の説明がなされた。

8. その他

竹林委員より、「河川災害に関するシンポジウム」(H28.3.14開催)の紹介があった。  
岩波委員より、防災科学技術研究所で調査した浸水深調査データの活用について案内があった。

配付冊子：

DPRI Newsletter No76、No77

回覧資料：

自然災害研究協議会パンフレットの原稿（日本語版・英語版）

「防犯防災総合展 in KANSAI 2015」パンフレット